



株式会社 高桑製作所

たった一枚の板から職人技で創り出した新しいカタチ

一枚鉸（ひとひらしぼり）

ヘラシボリ職人がたった一枚の板から新技術で創り出した日本酒用・酒器
美しい made in 東京

※ヘラシボリ=素材の金属板を回転させロクロで粘土を器にするように立体加工する職人技



- ①特許技術により不可能だった一枚板からの二重構造の器を実現
- ②「職人の～」「新技術～」「made in 東京」というストーリーの内包
- ③会津塗製品は日本赤十字社を通じ東日本大震災の義援金に売上げの一部を寄付
- ④使われる新技術は金属板加工の新たな可能性を提案
嫌溶接部材を多用する医療機器・宙開発関連での需要が期待される

お客様（利用者）の声

- ・現代でも職人技術が進化していることが日本人として誇らしい（購入者）
- ・これで外国人に日本酒を飲んでもらいたい（購入者）
- ・たった一枚の板から、しかも硬いチタン製ということに驚いた（製造業）

開発者の声



道具立てが100年以上前にそろっていた加工を発展させ新技術を開発し製品化したことを誇らしく思います「ローテクの極み」と言えるこの技術が嫌溶接部材の新たな可能性となり役立つことを期待しています。
代表取締役 高桑英治

株式会社高桑製作所

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 2-8-5

TEL.03-3731-4647

